

1. 件名：ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方に関する面談
2. 日時：令和5年2月1日（水）17時45分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、澁谷企画調査官、正岡企画調査官、大辻補佐、松田補佐、
塩唐松係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 2名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 2名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨：
 - 原子力規制庁は、同日開催した第5回特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合にて東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）に対して伝えた、ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方を実施計画に記載することについて、認識が共有されているか確認した。
 - 東京電力から、認識は共有しており、対応する旨の回答があった。
6. 資料：
 - なし